

# ぎかいの木

## CONTENTS

12月定例会の審議……………P2～3  
常任委員会審査報告/所管事務調査報告  
……………P4～6  
第1回全員協議会……………P7  
一般質問……………P8～14  
議会報告会/産業祭ブース…P15～16  
議会のうごき……………P16

NO.81 令和6年2月1日号

12月定例会などの内容をお伝えします。



鷹巣東小6年生

メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手より、「野球しようぜ!」のメッセージとともに市内の小学校や義務教育学校にグローブ3個が贈られました。鷹巣東小学校では3学期の始業式のあとにグローブの紹介が行われ、子どもたちはキャッチボールを楽しみました。

# 提出された議案28件を

# すべて可決



12月定例会は、12月7日から12月19日までの13日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案10件、補正予算案10件、単行議案8件の計28件並びに陳情6件及び最終日に提出された発議案4件について審議し、いずれも可決及び採択としました。

また、最終日に追加提案のあった北秋田市阿仁合財産区管理委員の選任、北秋田市大阿仁財産区管理委員の選任の2件については、いずれも同意としました。

## ▼令和5年度一般会計補正予算

今定例会で可決された令和5年度一般会計補正予算は、8億2625万7千円を追加し、総額は256億2548万6千円となりました。主な事業とその予算額は下記のとおりです。

主な補正予算	予算額
ふるさと納税事業	22,692千円
農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金	8,525千円
農業再生協議会負担金	13,764千円
鳥獣被害防止総合対策交付金	16,373千円
教師用教科書・指導書等購入事業	18,392千円
公共土木施設災害復旧事業	75,969千円
指定管理料の変更	21,581千円

## 12月定例会の主な議事

- 北秋田市行政組織条例等の一部を改正する等の条例の制定について
- 北秋田市下水道条例等の一部を改正する条例の制定について
- 令和5年度一般会計補正予算(第7号・第8号)
- 令和5年度北秋田市国民健康保険特別会計補正予算
- 令和5年度各事業会計補正予算
- 北秋田市クウインズ森吉の指定管理者の指定について
- 北秋田市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市阿仁合財産区管理委員の選任について
- 北秋田市大阿仁財産区管理委員の選任について

議案第93号 一般会計補正予算

不適正事務処理の関連予算

初日の冒頭、市長が陳謝

今定例会の初日の冒頭、津谷市長から令和5年度分水田活用の直接支払交付金及び関連対策事業のコメ新市場開拓等促進事業交付金に係る不適正事務処理について、これまでの経緯とともに、「事態を招いたことを深く反省するとともに、生産者の皆様、市民の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしたことを心よりおわび申し上げます。」などと陳謝がありました。

関連する一般会計補正予算に対する大綱質疑では、「再発防止は具体的にどういうことか。市職員全体にどういう注意喚起をしたのか。」との質疑に、市長からは「今後の業務遂行にあたり、一人に抱え込ませるのではなく、上司が把握しながら同僚を含めてチームであたってほしい。また、しっかりと規律意識を持って取り組んでほしいと話をした。」と答弁がありました。

また、最終日に、市長と副市長の管理監督責任を明らかにするため、減給条例案が追加提案され、全会一致で可決しました。

賛成・反対討論

▼議案第89号

反対討論 久留嶋範子議員

議会報告会でも、これ以上値上げしないでの声が出された。決算剰余金は9億円、基金残高も60数億円に上る。後年、何かに使うことになる。ならば今、市民生活のために使うべき。

賛成討論 永井昌孝議員

水洗化率と下水道提供区域外の割合から一般会計からの負担はなじまず、先延ばしは人口減少により将来さらに負担率が増えることから、利料の値上げはやむを得ない。

反対討論 福岡由巳議員

諸物価高騰の折、市民の生活は厳しく、かつ、公共料金引き上げも計画され、その最中の値上げ案は控えるべき。また、下水道工事は継続中で一般会計からの繰り出しは変えるべきでない。

▼陳情第24号

賛成討論 三浦倫美議員

人命にかかわる健康保険証。十分な審議も尽くさず、ミス多発のマイナ保険証強行は大混乱をまねく。「現行の健康保険証を廃止しないで。」の国民多数の声を国に届けるべき。

▼陳情第25号

賛成討論 板垣 淳議員

市が実施している高校卒業までの医療費無料制度に秋田県が助成してくれると、その分、市の財源が浮き別の子育て支援ができるので賛成。これに反対する意味が分からない。

12月定例会最終日の様子は  
こちらのQRコードから  
ご覧いただけます。



賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属党派・議員氏名 採決結果	採決結果	清明会					新創会				日本共産党 議員団	公明党	無党派					
		小笠原 寿	永井 昌孝	佐々木正史	松橋 久敏	堀部 壽	中嶋 洋子	長崎 克彦	佐藤 文信	虹川 敬	杉淵 一弘	佐藤 重光	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋範子	福田 牧子	福岡 由巳	五代儀義富
【令和5年12月定例会／令和5年12月19日採決】 ※議長は採決には加わりません。																		
議案第89号 北秋田市下水道条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
陳情第24号 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	採択	●	●	●	●	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第25号 秋田県に対して「子供の医療費助成を中学から高校卒業まで引き上げることを求める意見書提出の陳情	採択	●	●	●	●	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 総務文教常任委員会 ふるさと納税額1億円の追加補正

[委員長]小笠原 寿 [副委員長]五代儀義富 [委員]福田牧子/堀部 壽/板垣 淳/佐藤文信

当委員会に付託された案件は、条例案5件、予算案3件、陳情1件の計9件でした。

北秋田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について、委員から「移管するメリットは何か」との質疑があり、当局からは「総合計画の施策の推進、住民にとって分かりやすい組織体制、事務の効率化などが事務移管を行うメリットと考える」との答弁がありました。

北秋田市一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定について、委員から「想定職業として医師や法務関係のことだが、直ちに採用を見込んでいないにもかかわらず、この条例を制定するに至った経緯は」との質疑があり、当局からは「第一項は高度の専門的な知識経験、第二項は専門的な知識経験としており、観光分野において経験のある方を任期付で採用を検討しているための条例提案である」との答弁がありました。

北秋田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「減免の内容が所得割と均等割は減免になり、平等割はならないことだが、市の独自政策として平等割も減免にする考えはないか」との質疑があり、当局からは「いろいろと検討したが、上位法に基づき所得割と均等割とした」との答弁がありました。

令和5年度一般会計補正予算の総務部総合政策課の審査の中で、委員から「歳入1億円を計上している根拠は」との質疑があり、当局からは「昨年度の実績より相当分を見込み、増額補正としたもの」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、条例案、予算案ともに全会一致で可決すべきものと決し、陳情については全会一致で採択し意見書を提出するものと決しました。

(委員長 小笠原 寿)

## 所管事務調査報告

### 西条市・新居浜市を

#### 視察研修

「移住・定住への取組み、廃校の利活用」という二つの大きなテーマに向かい、どこかに成功例はないものかと11月14日、私達委員会は遠く四国へと向かいました。

愛媛県西条市、人口およそ10万人余りのこの街は、ここ2年続けて年間千人以上の移住者数を獲得する「移住のトップランナー」でした。「LOVESAIJO」と銘打った同市のシテイプロモーションは、高校を卒業して市外へ向かう学生達に会員登録を呼びかけ、WEBサイトを通じて地元との繋がりを「地元愛」の維持・醸成に努めていました。新しいお店やイベント等の魅力発信はもとより、求人情報・結婚支援事業や各種補助金制度を紹介する「移住コンシェルジュ」を設置するなど民間と行政が一体となった取組みの中で、先輩移住者の声掛けはインパクトがあり、空き家バンクを活用した「お試し移住体験」なども好評との事でした。

移住に成功する西条市の隣

は、ほぼ同規模の新居浜市があり、ここは、急激に空洞化が進んで廃校となった空き校舎をリノベーションして利用した「ワクリエ新居浜」がありました。指定管理で運営され、感性をはぐくみ「わくわく」を創造するというこの施設は、校舎の中庭に人工芝を敷き詰めてイベント広場にし、併設の給食調理室を食堂として相乗効果を高め、教室跡はレンタルオフィスやワークショップルームとして起業活動を支援し、さらに親子で楽しめる木育広場や完全防音を施したスタジオも用意、プールでは淡水魚の実験養殖もしております。

(文責者:副委員長 五代儀義富)



廃校を活用したワクリエ新居浜 (新居浜市)

## 市民福祉常任委員会 大規模災害支援金は消防団へ

[委員長]佐藤重光 [副委員長]三浦倫美 [委員]虻川 敬/佐々木正史/中嶋洋子

当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案7件、単行議案1件、陳情5件の計16件でした。

令和5年度一般会計補正予算について、委員から「大規模災害対策支援金について、7月の水害で住居の被害に遭われた消防団の方への支援金か」との質疑があり、当局からは「消防団員への支援金ではなく、市町村の消防団全体に対しての支援金となる」との答弁がありました。また、委員から「住基ネットシステム改修委託について、マイナンバーカードの氏名欄にふりがなをつけるためのシステム改修との説明だったが、この改修により、職員の業務への影響はどのようになるのか」との質疑があり、当局からは「業務への影響は特にならない」との答弁がありました。また、委員から「地域子育て支援拠点事業について、実施された園での取組みは」との質疑があり、当局からは「保育園に

通っていないお子さんたちが拠点に来て話をしたり、相談をしたりする事業を行っている」との答弁がありました。

北秋田火災予防条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「規制緩和になったとのことだが、具体的にどのような場所が想定されるか」との質疑があり、当局からは「蓄電池容量の大容量化へ対応するもので、市に届け出されている設備は、携帯電話中継局、電話局、テレビ電波塔などの非常時に作動するため蓄電池となる」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、条例案、予算案、単行議案については全会一致で可決すべきものと決し、陳情のうち2件は委員長裁決、ほか3件は全会一致で採択し意見書を提出するものと決しました。

(委員長 佐藤重光)

### 所管事務調査報告

#### 鶴岡市・上越市を視察研修

市民福祉常任委員会は10月23日に山形県鶴岡市、25日に新潟県上越市で所管事務調査を行いました。

焼却発電の取組みに学ぶ

令和3年4月に供用開始したごみ焼却施設で発電した電力の約3分の1は、施設内で自家消費、余剰電力は売電して市立小中学校等に供給するなどの活用を図っています。燃焼設備の焼却炉の処理能力は1日160ト、発電量は年間約2000万kWhアワー、一般家庭6700世帯相当。自家消費は約750万kWhアワー。余剰電力は約1250kWhアワー。余剰電力の約40%は市の電気小売者に売電。事業者が電力を小中学校等に供給し、電力の地産地消を行うとの説明がありました。「暮らしの安心」を支える多様な事業であることを認識しました。

子育て支援の先進事例

上越市では、核家族化の進行や女性の社会進出の増加等に伴う保育需要の多様化に対応し、家庭に

おける育児機能を補完するため、平成12年11月から24時間保育施設「ファミリーヘルプ保育園」を開設しています。

サービスの内容は、就労、病気、介護、出産、リフレッシュ等の事由により緊急または一時的に保育ができないと認められた人を対象に、生後8週間から就学前の児童の一時預かりを行っています。いつでも、誰でも、困った時に「安心して預けられる保育園として利用者は年々増加し、子育て支援の象徴的な意義は大きいと言えます。

(文責者…委員長 佐藤重光)



ごみ焼却施設を視察 (鶴岡市)

## 産業建設常任委員会 下水道使用料金改定へ

〔委員長〕杉淵一弘 〔副委員長〕松橋久敏 〔委員〕永井昌孝／福岡由巳／久留嶋範子／長崎克彦

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案3件、単行議案7件の計11件でした。

北秋田市下水道条例等の一部を改正する条例の制定について、委員から「来年10月1日からの使用料改定であるが、市民から、この物価高の中で何とかして引き上げないで維持してほしいという声が議会報告会の中であつた。引き上げに關して市民からの意見はなかつたのか」との質疑に、当局からは「人口減少社会において、後世に負担を先延ばしすれば、今より少ない利用者にも多大な負担をかけるので、できるだけ早く改定をお願いをしたところである。市民から意見は頂戴していませんが、審議委員会で審議をいただいた」との答弁がありました。

令和5年度北秋田市一般会計補正予算の産業部農林課の審査に先立ち、産業部長より「コメ新市場開拓等促進事業交付金に關わる不適正事務処理」について報告とおわびがありました。審査において、委員から「農家や農業法人への説明はどのように行ったか」との質疑に、当局からは「再生協議会の幹事、委員には事前に事態について報告とおわびを行っている。また、今議会終了後、可決いただいた際には速やかに関係者に通知を出して支払いの作業をしたい」との答弁がありました。次に、鳥獣被害防止総合対策交付金について、委員から「交付金の算定基礎は」との質疑に、当局からは「檻が1基あたり14万から15万円で、これまでの活動実績や今後の春先のクマ出没を想定して合計額を積算した」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、条例案については賛成多数で、そのほかは全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

（委員長 杉淵一弘）

### 所管事務調査報告

#### 御殿場市・南房総市を視察研修

産業建設常任委員会は、11月8日に静岡県御殿場市、9日に千葉県南房総市で所管事務調査を実施しました。

##### 保育園留学の取組み

御殿場市は、富士山麓の豊かな自然の中で子育てを支援し、関係人口を創出することを目的に、令和5年6月から「富士山保育園留学」を民間企業に委託する形でスタートしています。この留学の主な特徴は、①居住地の近くで留学が可能（東京都から車で1時間圏内）、②富士山の麓の素晴らしい自然環境、観光資源の存在、③デジタル地域通貨「富士山Gコイン」を活用したおもてなしであるとの説明でした。7家族の利用実績（視察時まで）があり、両親と子どもが1人から2人で、1家族あたりの予算は30〜50万円とのことでした。

##### ワーケーションの取組み

南房総市では、ワーケーションを受け入れている「ちくらつなぐホテル」で話を伺いました。当該

ホテルは学校の保養所を再生したもので、ワーケーションのほか、大学のゼミ、スポーツ合宿、学童合宿を受け入れていました。ワーケーション利用は企業内のチームや部署単位の少人数で、体験メニューが重要との説明を受けました。市との関わりについては、提携といった関係はないが、ワーケーションが発生した場合に情報を共有しているとのこと。ホテルでは地域と連携し、耕作放棄地で栽培したサトウキビ収穫体験やラム酒蒸留所見学ツアーの企画など、地域の魅力を発進した誘客活動に取り組んでいるとのことでした。

（文責者…副委員長 松橋久敏）



ワーケーションの取組みを学ぶ（南房総市）

## 皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、学級編制標準と基礎定数の改善による正規教員増を国に要請することについての陳情	加賀屋 俊悦	採 択	提出
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子	採 択	提出
国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子	採 択	提出
健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子	採 択	提出
秋田県に対して「子供の医療費助成を中学から高校卒業まで引き上げること」を求める意見書提出の陳情	秋田県社会保障推進協議会 執行委員長 佐藤 幸美	採 択	提出
加齢性難聴者へ補聴器購入の補助を求める陳情	全日本年金者組合北秋田支部 支部長 高坂 豊實 北秋田市老人クラブ連合会鷹巣支部 理事長 渡部 道昭	採 択	—

第1回

## 市議会全員協議会

- ・ 令和6年度組織機構改革について
- ・ 令和6年度以降のごみ処理方式の変更について
- ・ 下水道使用料の改定について



第1回全員協議会が11月10日に開かれ、3つの案件について当局から説明があり、協議しました。

### —令和6年度組織機構改革について—

多様化する市民ニーズや新たな行政課題に迅速かつ柔軟に対応し、より効率的に推進するための組織体制を確立することを目的として、観光文化スポーツ部の新設、産業部の改編と産業政策課の新設、建設部と水道局を統合し建設部とするものなど、令和6年度からの組織機構の見直しについて説明がありました。

### —令和6年度以降のごみ処理方式の変更について—

現在、市内2か所の埋立施設で処理している大型木質ごみや粗大ごみについて、リサイクルセンターでの受入れを可能とすることや、これまで利用可能な地区を限定していた長下処分施設の利用を市内全域に変更するなど、埋立施設の延命化や

市民の利便性向上、既存施設設備の有効活用を図るために、ごみ処理方式の変更を検討すると説明がありました。

### —下水道使用料の改定について—

人口減少社会等による厳しい経営状況にある現況下において、持続的かつ安定的な経営を確保し、将来にわたり安全で快適な暮らしを維持するため、下水道使用料について、令和6年10月1日から19.3%の改定を行いたいとの説明がありました。議員から「物価高が続いているタイミングでの決断に当たり、市民負担との関係はどのように考えているか。」との質疑があり、当局から「物価高騰等の事情は承知しているが、このまま赤字が増えていく状況で改定を先延ばしすれば、人口が減っていく中で大きな負担をしなければいけないため、できるだけ早く広くお願いしたい。」との答弁がありました。

## 活かそう市民の声

# 市政を問う！ 一般質問

一般質問は、12月11日・12日の2日間で行われ、12人の議員が登壇しました。

### 久留嶋 範子 議員 (P 9)

- ◆今後の物価高騰対策について
- ◆除排雪対策について

### 五代儀 義富 議員 (P 9)

- ◆熊被害について
- ◆救急搬送体制について
- ◆元町跨線橋撤去後の対応について

### 永井 昌孝 議員 (P10)

- ◆情報発信について
- ◆空き家対策について
- ◆労働と移住定住について

### 福岡 由巳 議員 (P10)

- ◆鳥獣被害防止対策の徹底について
- ◆市制 20 周年記念事業について
- ◆森吉山県立自然公園の国立・国定公園昇格の推進について
- ◆森吉山荘の早期再開について

### 福田 牧子 議員 (P11)

- ◆病児保育について
- ◆北秋田市の里帰り出産対策について
- ◆教員の働き方改革について
- ◆市役所内のIT個人情報セキュリティ対策について

### 板垣 淳 議員 (P11)

- ◆佐竹県知事の問題発言について
- ◆クマ対策について
- ◆将棋のタイトル戦誘致について
- ◆市庁舎のあり方について

### 小笠原 寿 議員 (P12)

- ◆農林政策について
- ◆人口減少対策・産業振興策について

### 佐々木 正史 議員 (P12)

- ◆DX推進の結果と今後について
- ◆市内各イベントに対する市補助金の減額について

### 虹川 敬 議員 (P13)

- ◆通学路について
- ◆鷹巣陸橋の課題について
- ◆鳥獣被害について
- ◆地域交通について
- ◆道の駅たかのすについて
- ◆オンブズマン制度について
- ◆市役所の環境について
- ◆コンパクトシティ化へ向けての計画の提案

### 長崎 克彦 議員 (P13)

- ◆令和6年度の予算規模と主要な事業について
- ◆不稼働資産（建造物）対策について
- ◆坊沢字上野地区のため池について

### 三浦 倫美 議員 (P14)

- ◆公共交通の拡充について
- ◆災害対応について
- ◆地域に寄り添った業務体制の拡充について

### 松橋 久敏 議員 (P14)

- ◆機構改革について
- ◆鳥獣被害対策について
- ◆災害復旧について



久留嶋 範子 議員

(日本共産党議員団)



物価高騰から

市民の暮らし守れ

**Q** 9月から販売したスーパープレミアム付応援チケットは完売となったが、どう評価しているか。また、今後の追加の予定はあるのか。

**A** 通常販売期間中に完売し、購入の意向がある市民におおむね行き渡ったと推測している。市民生活の経済的な負担軽減に加え、地域経済の活性化へ一定の効果があつた。今後は国、県等の動向を注視し、柔軟に対応していきたい。

**Q** 今冬こそ低所得者、ひとり親世帯などに福祉灯油助成の考えはないか。県は2年ぶりに灯油購入費補助を4千円を上限に半額助成するとしたが、当市でもぜひ実施を。

**A** 住民税非課税世帯に対して灯油購入費を助成するため、補正予算案で追加提案をさせていただく。

**Q** 国からの臨時交付金の追加について、どのように活用するのか。

**A** 市では、住民税非課税世帯一世帯7万円の給付と、子育て生活応援事業や灯油購入費助成事業を実施する。

**Q** 本格的な冬を迎え、除排雪対策は万全か。高齢者世帯への支援は。積雪により倒壊の恐れがある家屋の実態と対策については。また、通学路の安全確保は十分か。

**A** 高齢者や障害者などへの援助として福祉の雪事業を実施しており、冬季間の安全・安心な生活の確保に努めていく。空き家対策は、所有者などに適切な管理について助言・指導を行ってきた。登校時には歩行に支障のない路面状況を確保できるように体制を整えていく。



放置されたままの空き家

五代儀 義富 議員

(無党派)



熊被害に救済を!

陸橋に住民要望を!

**Q** 熊による被害者に市として見舞金を支給する考えはないか。熊被害は自然災害ではないのか。

**A** 熊被害は、災害対策基本法により自然災害ではなく不慮の事故と捉えている。従って被害者に対する見舞金は考えていない。

**Q** 救急車両の保有台数を超える搬送要請に対応する体制は整っているか。いかなる事態にも対応する指揮・命令体制となっているか。訓練は充分か。

**A** 特に詳細をマニュアル化はしていないが緊急通報を覚知した順に、また、同時に複数覚知した場合は傷病者の数・程度により対応している。指揮については、先着隊の長から現場最高指揮者へ移行するとしている。また、市の消防力を

上回る場合は秋田県広域消防相互応援協定に基づき応援を要請するとしており、訓練も実施している。

**Q** 元町跨線橋撤去後の対応として鷹巣陸橋の西側歩道部分に対する住民要望と東側歩道部分に対する常任委員会の意見への対応は。

**A** 鷹巣陸橋については県に対して協議済みであり、西側歩道部分については歩道補修に向けた設計段階に入る予定との事で事業は進んでおり、早期の工事実施に向けて引き続き協議を行う。東側歩道部分については自転車の退避場所スペースが足りないという認識に変わりはなく、綴子川堤防下に退避スペースを設けるということで前向きな回答を得ており、引き続き協議を行っていく。



昨年の所管事務調査による鷹巣陸橋視察

永井 昌孝 議員

(清明会)



「LINE」での  
情報発信を

**Q** 市街地での熊襲撃事件でヤフー ジャパンアプリからの情報発信が活用されたのは1度のみ。その後の情報発信は防災ラジオで行われ 外出者には情報が行き届かなかった。今後のヤフージャパンアプリの有効活用方法と新しく「LINE」アプリでの情報発信はできないか。

**A** 被害防止の観点からヤフージャパンアプリでの情報発信の活用を進める。来年度から「LINE」を活用した情報発信を進める。

**Q** 特定空家等解体撤去事業補助金の利用状況と物価高騰により解体費用増加から補助額の増額の検討を。

**A** これまでに8件、381万円の実績となっている。管理不全な空

き家になる恐れがある物件に対しての補助金制度を検討している。

**Q** 空家対策事業は行政だけで解決していくことが難しい事業。民間事業者との連携が必要では。

**A** 空き家バンク事業に関して、宅建業者の協力や民間の月刊誌への掲載等による連携を行っている。また、空き家の利活用に関しては、

NPO法人や不動産会社による活用事例を参考にしながら、地域の民間事業者等との連携について検討をしていく。

**Q** 賃上げを考える企業は多いが実施できている企業が少ない。賃上げを促す施策を。

**A** 商工会や企業懇談会を通じ賃上げを働きかけ、ITツールの導入やDX化を推進し、自動化による生産性向上を図り産業振興推進条例などの周知に取り組む。



外出先での情報受信

福岡 由巳 議員

(無党派)



「市独自の熊対策を」  
「新たな対策も検討」

**Q** 今季は熊による被害が甚大であった。これらの被害を極力抑えるために緩衝地帯の拡大、農業従事者への支援等独自としても予算を大幅に増額すべきでないか。

**A** 新年度に向けては電気柵購入の補助対象者の拡充など新たな対策も検討しているところである。

**Q** 再来年3月22日の市制20周年記念事業の一環として市史編さん体制を確立すべきでないか。

**A** 市史編さんは時間や労力を要することから引き続き検討する。

**Q** 森吉山周辺の国立・国定公園昇格について、市当局は環境省へ資質調査を求めているが、それ以外は全て調査後の意向待ち。スピード感ある要望活動を行うため、設置予定の森吉山推進室は専門性あ

る職員以外の外部からの招致もあるか。

**A** 森吉山推進室は公園昇格の早期実現等のために外部人材の活用のほか環境省への職員派遣を検討しているところである。

**Q** 森吉山荘は休館して廃屋同然である。設備の劣化が進む前に民間譲渡ありきではなく指定管理者の指定も方針にすべきでないか。

**A** 指定管理者制度による運用は考えていなく、民間譲渡に向けて12月1日から再募集を始めた。

**Q** 湯量激減した森吉山荘である。既存の温泉井戸をボーリングするか、新たな温泉水確保するかを新年度予算に示すべきでないか。

**A** 山荘の設置経緯から新規井戸の掘削は考えていない。必要に応じて源泉所有者と協議していく。



国立・国定公園化候補地森吉山周辺

福田 牧子 議員

(公明党)



出産・保育・働き方  
支援と情報管理対策

**Q** 医療的ケア児の保育支援と家族の離職防止のために訪問保育の導入の考えはあるか。

**A** 現状、訪問保育のニーズはなく、制度を作るまでに時間を要す。

**Q** 訪問保育制度や訪問看護の情報発信は。自治体の責務として訪問保育制度の導入をお願いしたい。

**A** 個別に相談に応じたい。

**Q** 里帰り出産を受け入れる施設が市内には無い。現状は能代での出産、距離的に遠く不安がある。

**A** 近隣他市への働きかけを行う。

**Q** 里帰り出産を含む全ての妊婦への相談の支援強化を。

**A** 支援体制の検討をする。



北秋田市ホームページ（スマホ版）

**A** ホームページもセキュリティもしっかりやっていく。

**Q** 市のホームページが見難く、目的のページに到達できないとの声があるが、情報セキュリティとホームページ作成の専門家の採用が必要では。

**Q** 市のホームページが見難く、目的のページに到達できないとの声があるが、情報セキュリティとホームページ作成の専門家の採用が必要では。

**A** ホームページもセキュリティもしっかりやっていく。

**Q** 個人情報保護対策の職員研修は。研修は未実施。計画中の段階。

**Q** 教員サポートを教員免許取得者として授業をサポートできないか。

**A** 当市の教員サポートの業務内容は、教員免許を持っていない人もできる内容。教員数増政策を依頼。

**Q** 教員の働く現場が忙しく、両立は困難で第二子を諦めているとの声がある。時間外労働の実態は。

**A** 教職員の時間外勤務時間は、小学校教諭37・5時間、中学校教諭が54・5時間／月平均。45時間以内を目標に取り組んでいる。

板垣 淳 議員

(日本共産党議員団)



クマ出没の根本対策を

**Q** 佐竹知事が「四国の酒はうまくない、料理は貧乏くさい」と問題発言をした。市長として抗議すべき。

**A** 抗議ということではなく「気をつけてくれ」といさめる話はした。

**Q** クマ出没にどういう対策をとったか。きめ細かい情報提供が必要ではないか。

**A** 市の広報やホームページ、防災ラジオ、広報車の巡回で注意喚起をした。また、捕獲を進めるための補助金を増額するなど被害対策に取り組んだ。今後はSNSでも配信する。

**Q** 過疎化で田畑の耕作放棄地が増え、藪が生い茂り、栗や柿の実が放置され、動物はどこまでが森で

どこから里かわからなくなってしまった。アーバンベアはクマがその性質を変異して勝手に出てきたのでなく人間の活動の結果、出ざるを得なくなったもの。ゾーニング管理などの根本対策が必要ではないか。

**A** 栗や柿の木の伐採、電気柵購入に補助を出す。根本対策には広域的な対応が必要なため県と連携して取り組む。

**Q** 市の知名度アップのために将棋のタイトル戦誘致を。

**A** 大変興味深い提言。十分研究したい。

**Q** 市本庁舎に総合案内、多目的トイレ、授乳室、オムツ交換台を。合川庁舎にエアコンを。

**A** いずれも設置に向け検討する。



市役所本庁舎に総合案内を

小笠原 寿 議員

(清明会)



熊対策の一環で  
針広混交林推進を

**Q** 伐採後の民有林の再造林面積の実績が低い。熊の餌となる実のなる広葉樹のブナ・ナラはスギ以上の高値で取引されている。針葉樹のスギとの「針広混交林」の再造林を促すことは多方面にわたリメリットがあると思うが。

**A** 針広混交林化は山林の機能保全が維持され、動植物の生息・生育の場としても期待されることから、森林資源の有効活用も含め新植を推進していく。

**Q** 北秋田市で生まれ育った若者に対し、効果的なシティブロモーション事業を立ち上げ、ウェブサイトによる会員登録制度の「北秋田ファンクラブ」の発足はできないか。

**A** シティブロモーションは現在の

ところ確立していないが、今あるSNSを活用するなど、高校生をはじめとする若い世代とのタイアップなどで仕掛けづくりに入力を入れ、「北秋田ファンクラブ」としての機能を見出ししていきたい。

**Q** 地元を離れた大学生や専門学生などに対し、就職活動時期に首都圏で市内企業の斡旋窓口の開設やマッチングサイトの立ち上げを。

**A** 「あきた就職ナビ」への市内企業等の登録を勧めているほか、市内事業者の魅力を発信、紹介するコンテンツの構築に向け進める。

**Q** 大館能代空港の利便性を活用し、地元定着を図るためにも、市内在住の若者や子育て世代に対し、往復1万円くらいで利用できる運賃助成を。

**A** 早期購入やタイムセールで割安に購入できることについて周知に努める。



利便性を活用し若者定着を

佐々木 正史 議員

(清明会)



DX推進の結果と  
今後について

**Q** 自治体DXが完了したとのことだが、どの業務にDXが生かされるその効果と、高速WiFi環境の整備状況と今後の予定。また、高齢者等デジタル弱者への支援状況について。

**A** 自治体DXを推進した結果、マイナカードにて、保育関係の支給や児童手当の現況届・介護支援認定や、転出入など四十種類ほどの手続きがオンラインで可能となった。ワーケーション推進高速WiFi設置事業補助金を創設し、今後1年1か所の設置を目標とする。デジタル弱者への対応は、介護予防講座等を利用しスマホ操作の説明を計8回実施している。今後とも、県と連携しながら研修会を検討していく。

**Q** 市内各イベントに対する補助金減額について、減額理由とイベントに対する当局のスタンスは。

**A** 合併による普通交付税算定が終了したため、厳しい財政運営が見込まれたことから、歳出全体を見直したため減額となった。それ以上の減額を行うものではないが、公益上の必要があるものに対しては、地域コミュニティや教育面でもプラスになっているか等精査しながら、物価高等も考慮に入れ補助金を交付し支援して行きたい。



約40種類の手続きがオンラインで可能に



虹川 敬 議員

(新創会)



地域交通の  
行く末を考える

**Q** 近隣の市ではITを活用した公共交通環境の整備の実用化が見えるが当市では同様の交通に対して取り組む意思はあるか。

**A** 今後、乗務員不足や運行の効率化、利便性の向上のためIT技術を活用した交通システムの導入は必要になると考えている。技術の確立状況や交通事業者との協議により、導入時期を判断していくことになると考えている。

**Q** 路線バス、秋田内陸縦貫鉄道、地域交通関係各社を一体の地域交通会社にまとめ上げ、市営で一元管理の下、効率よく運営する考えはないか。

**A** 現時点において考えてはいないが、各モードの連携による交通網の維持確保は今後も進めていく。

**Q** インフラの効率化、緊急時の安全性などを考慮し冬期間居住区、または通年の居住区間、水道下水道等生活ライフラインの提供エリアの設定などを提案し、全市民が安心して生活していける環境を目指し、コンパクトシティ化に取り組んではいかがか。

**A** 市民が生活しやすい環境や幸福度など人間が幸せに生活を営むために必要な要素は多様であり、効率ばかりを優先させ住居の移転を求めるとは、多くの方々に負担を増加させてしまうおそれがある。コンパクトシティはまちづくりの一つの手段であり、その定義や形態など一様ではないことはもちろん、メリット・デメリットを持ち合わせていることから、市として取り組めることがあるか調査と研究をしていく。



大館市のIT活用交通  
(写真提供：大館市)

長崎 克彦 議員

(清明会)



令和6年度の予算と  
主要な政策

**Q** 当市の予算歳入は地方交付税、国県支出金、市税等の自主財源などである。歳出は義務的経費、近年の災害負担助成金、住民からの財源を伴う要望も増加傾向にある。このような状況での予算規模と主要な事業についての考えを伺う。

**A** 編成作業中で規模的な数字を示せる状態でない。歳入総額に占める割合が大きい一般財源の地方交付税は例年ベースになる見込みである。全ての子供・子育て世帯を切れ目なく支援する施策の充実や、高齢者対策の事業の推進、国立・国定公園化を目指す森吉山を中心とした観光資源への取組み、全ての市民がデジタル化を受けられるDX事業に重点的に取り組む。

**Q** 市有の稼働していない建造物の対策について伺う。

**A** 令和4年度で稼働していない物件は25施設。今後、現状把握に基づき、存続、廃止、除去の中から具体的な方針を示す。除去と判断した施設は順次、解体を進める。

**Q** 鷹巣産業会館は現在老朽化などの影響で利用されていない。早急な対応策を考えるべきと思うが。

**A** 解体後、再利用に向け考える。

**Q** 坊沢上野地区のため池の管理についての考えは。

**A** 法定外公共物に位置付けられ、除草など地域でできる維持管理は地域住民や受益者などで行っていく。ただ。



解体予定の産業会館

三浦 倫美 議員

(日本共産党議員団)



地域に寄り添った  
業務体制の拡充を

Q デマンドタクシー「増沢・市民病院線」、「市民病院南線」、「市民病院西線」増便の経緯と努力は。

A 市民の声を受け、午後診療や買い物帰りの利用にも対応するため、各業者の理解協力を得て増便した。情報弱者へも増便周知を。対象地域に紙のチラシ等で全戸配布を。

A 地域へのチラシ配布は検討する。

Q 実施2年目の路線バス定期券補助、じょうもんバスの利用状況は。

A 周知と利便性が広がり利用者増。申請件数は昨年度同時期比、約1.4倍。学生の利用は約1.9倍。

Q スクールバス等の有効活用は。

A 混乗なども含め、課題を整理し、改善策を探っていく。

Q 他自治体への災害対応、応援職員派遣の庁内調整や業務内容は。



増便を伝えた広報 10月号

A 7月大雨災害派遣は「災害時における秋田県及び市町村相互の応援に関する協定」に基づく秋田市、男鹿市、五城目町からの要請に各部署を調整し、連続3日1サイクルで延べ109名派遣。被災家屋現地調査、り災証明書発行支援、災害廃棄物仮置き場の運営支援等に従事。派遣職員の経験を当市の災害対応に反映し活かしていく。

Q 災害時の避難情報。旧町ごとの中心的避難所と同時に各現場の状況に応じた避難所の情報発信を。

A 今後は自治会や自主防災組織と協議・連携し、状況に応じた最寄りの避難場所の開設も検討する。

Q 地域に寄り添った業務体制を。

A 地域課題に担当課や各総合窓口センターで連携し解決に努める。

松橋 久敏 議員

(清明会)



出張所の開所時間の  
短縮について

Q 機構改革で前田、大阿仁出張所の開所時間を短縮（9時〜15時）する理由は何か。時間短縮により行政サービスが後退しないか。

A 令和2年度から4年度までの過去3年間の1日当たりの平均利用人数は、前田出張所12・9人、大阿仁出張所10・8人となっており、今後減少していくと推測される。このような状況から、出張所事務を総合窓口センター市民生活係の所管とし、適正な人員配置及び業務の効率化、平準化を目指す。時間短縮となっても、事前の連絡があれば従来通りの時間帯で柔軟に対応する。来庁が困難な方への新たなサービスを検討している。

Q 出張所の配置職員を1人にし、通常時間での勤務ができないか。



大阿仁出張所の窓口

A 公金の取扱いに関しては、基本的に2人体制、出張所の取扱いについても同じ対応になる。

Q クマ対策について、緩衝帯の整備に森林環境譲与税を活用する考えはないか。

A 森林環境譲与税の用途に照らし、検討する。

Q イノシシ、ニホンジカの増加を防ぐ対策は。

A くくりわなの追加購入と捕獲数の向上に向けたわな設置講習会を開催するとともに、狩猟期間での捕獲拡大を目指す。

Q 災害復旧について、入札不調への取組みは。

A 余裕のある工期設定と早期の契約につがるよう取り組む。

# 議会報告会／産業祭議会ブース



議会報告会 阿仁地区

10月21日・22日、産業祭で市議会として初のブース出展をさせていただき、11月12日、市内4か所で議会報告会を開催させていただきました。多くの皆様から貴重なご意見やご要望等を頂戴することができました。皆様からのお声は各議員で共有させていただきますとともに、市当局へも伝えさせていただきます。

ご参集いただきました皆様には心より感謝申し上げます。今後とも貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

## 議会報告会テーマ「人口減少」と「空き家問題」

### 合川地区 参加者 9名

熊対策として議会が話し合い、対応について情報発信をしたら市民は安心すると思うとの意見がありました。さらに高齢社会の対策のためには、各総合窓口センター職員等が集落に足を運んで実情を理解して欲しい。合川地域は、一時避難場所の提供をするなど自治会内の共助が実施されていますが、高齢化による限界があり、冠水で通行止めにも関わらずセントラル合川が避難場所と広報され、住民が混乱したという現状の課題を踏まえ、今後の議会活動に活かしてまいります。

### 鷹巣地区 参加者 11名

空家対策と人口減少対策をテーマに意見交換を行いました。空家対策では、所有者の把握状況、納税に関する質問のほか、火事の心配、落雪処理が町内会の負担になっているとの報告がありました。人口減少対策では、女性の働く環境の整備、若者が住みやすい街づくり、働く場の確保として6次産業化の取組みなどの要望がありました。テーマ以外では、大館能代空港の愛称「あきた北空港」を北秋田市が印象づけられる愛称への変更提案のほか、下水道料金の引上げに反対する意見がありました。皆様の声は今後の議会活動に活かしてまいります。

### 阿仁地区 参加者 13名

要望や意見として、熊の市街地への出沒が増えて空き家が隠れ家になっているのではとの意見や、捕獲用檻を設置しているが住民への通知が必要。来年も里へ出てくる可能性が高いため、要所に看板を設置してはとの意見がありました。

空き家対策として、積雪時などに雪下ろしがされないため倒壊するので、早急な対策をとってほしいとの声がありました。

打当温泉手前の「遊々ガーデン」を活用してマタギの湯などの誘客を増やせないか。また、合併当初の基金はどうなっているかなどの質問がありました。

### 森吉地区 参加者 7名

議会報告後、質疑応答に入りました。人数は少なかったものの、活発な意見交換が行われました。「ふるさと教育」で、誇りと感謝は持つがなかなか将来に繋がらない。東京圏などから戻った時に働く場所をどうしてつくるか。

熊対策と食肉加工所を作りジビエ販売を。給食を無農薬の材料にし、給食費は無料に。

観光客も目にする空き家の放置状態に、市の対策が追いつかない。人口減少対策。

農業のことなど、地域課題をしっかり受け止めました。皆様の心配な思いを市当局にも届けて、10年後20年後を見据えて、議会活動に活かしてまいります。

## 議会の動き

<10月16日～1月15日>

10月

- 17日・全国民間空港所在都市議会協議会第104回臨時総会
- 18日・広報特別委員会
- 20日・秋田県北部市議会連絡協議会総会・研修会
- 21日・北秋田市産業祭（～22日）
- 23日・市民福祉常任委員会所管事務調査（～25日）
- 25日・全国市議会議長会研究フォーラム（～26日）
- 31日・議会運営委員会

11月

- 2日・秋田県市議会議員研修会
- 7日・産業建設常任委員会所管事務調査（～9日）
- 10日・第1回全員協議会
- 12日・議会報告会
- 13日・令和5年度秋田県北部地域秋期合同要望活動
- 14日・総務文教常任委員会所管事務調査（～16日）
- ・北部市議会連絡協議会要望活動
- 15日・日本海沿岸東北自動車道沿線市町村建設促進大会
- 21日・秋田県市議会議長会臨時会
- ・秋田県知事との行政懇談会
- ・令和5年度秋田県北部地域秋期合同要望活動
- 27日・議会運営委員会
- 28日・小阿仁川水系対策委員会、小阿仁川筋ダム対策協議会
- 29日・議会運営委員会
- ・矢坂糠沢線整備促進期成同盟会監査

12月

- 6日・矢坂糠沢線整備促進期成同盟会理事会、総会
- 7日・12月定例会（初日）
- ・広報特別委員会
- 11日・本会議 一般質問①
- ・議会運営委員会
- 12日・本会議 一般質問②
- 13日・総務文教常任委員会
- ・市民福祉常任委員会
- ・産業建設常任委員会
- 19日・12月定例会（最終日）
- ・議会運営委員会
- 21日・森吉エリア国立・国定公園化推進議員連盟研修会

1月

- 10日・市民福祉常任委員会所管事務調査
- 12日・広報特別委員会

## 産業祭議会ブース 《アンケート結果/ご意見等》

産業祭議会ブースでのアンケート結果とお越しいただいた皆様からのご意見等について一部抜粋してお知らせします。



北秋田市が優先すべき政策は？（回答者 82 名）

産業政策 42.7%

少子化政策 57.3%

- ・子供たちが雨の日でも遊べる場所を。
- ・もっと職場が欲しい。
- ・産業発信力が大切！働く職場を作り出す（～75歳まで気軽にゆったり働く場）
- ・保育園の子供たちに！保育士に！支援をお願いします。未来の子供たちのために・・・。
- ・各自治会館にエアコン付けてほしい。
- ・マタニティ教室の周知を！若い人の交流の場を。
- ・農業改革に力を入れてほしい。続けていくのが大変。肥料、機械は100万近い農業政策支援強化を。
- ・休みやすい環境、子育ての両立が難しい。教員免許を持ったサポーターがいるとよい(教員)
- ・市民のため、よく頑張ってください議員の方々に感謝しています。
- ・自分が死んだ後の家や土地の処分について対策を。
- ・議員の数を半分に。
- ・障害ある子が大きくなってからも住み慣れた地元で暮らして働く場があると市外に行かなくてもよいので助かる(親として)
- ・物価高対策。
- ・駅前の活性化。
- ・住宅を更地にすると税金が高い。対策を。
- ・元気のある街に！！
- ・耕作放棄地の草木が伸びて熊やイノシシがくる。何とか所有者に言うとか、所有者がいないところの対策を。
- ・北秋田市の特徴を押し出すPRが足りない。動きが見えない。要望する気にならない。あきらめの気持ちで暮らしている。
- ・セレモニーができるホールやホテルが市内に欲しい。
- ・議員と子どもたちとの交流をしてほしい。
- ・交通の拡充。各集落を回って病院に行く便を。
- ・賃金が安い、特に男性。共働きしないと生活できない。
- ・子育て支援の拡充をしてほしい。

議会報告会・産業祭議会ブースともに、今回掲載できなかったものも含めて、たくさんのご意見をいただき、ありがとうございます。

### 広報特別委員会

委員 長	五代儀義富	副委員 長	福岡由巳
委員	佐々木正史	委員	久留嶋範子
委員	中嶋洋子	委員	佐藤文信